

1 学校教育目標

「夢や希望をもち、目標に向かってたくましく生きる生徒の育成
 ~明るく、わ(和・輪)のある学校~
 めざす学校像
 ◆活気に満ちた規律ある学校…あいさつ、活気のある授業、マナーアップ(言葉遣い・服装)
 ◆学ぶ環境の整った、安全で美しい学校…適切な危機管理、掃除が行き届いている
 ◆地域の学校として、信頼される…学校・家庭・地域、異校種、関係機関との連携、情報発信

2 今年度の学校重点目標

- ①自尊感情を高める ②学力向上に向けた授業改善
- ③人権教育・特別支援教育の充実
- ④新しい学習指導要領に対応した取組の充実
- ⑤生徒指導の充実 ⑥家庭・地域との連携
- ⑦学校園所連携の推進 ⑧学校業務改善(勤務時間の適正化)

3 総合的な自己評価

新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程の実現」(学校が地域社会との連携や協働をより一層推進していくこと)が求められている。情報発信、学校支援ボランティアの導入に努め、家庭や地域の理解と協力を得ながら、学校教育目標の実現を図ってきた。なお、アンケート結果で教職員と生徒・保護者の割合が異なるものについては、更なる周知と連携した家庭、地域との取り組みの必要がある。

4 総合的な学校関係者評価

コロナ禍の中、さまざまな対策をとり、安全で有意義な教育活動が行われてきた。特に、課題であった学校支援ボランティアの活用や情報発信に力を入れ、教育環境の充実と信頼される学校づくりが行われてきたことを評価する。「楽しく学校に通う」「学力向上」は生徒・保護者の強い願いである。このことを受け止め、一層の生徒理解と自尊感情の育成に努めてほしい。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
学校教育目標	学校教育目標や重点目標、目指す生徒像・学校像を意識した教育活動が日々実践されているか。	目標に向かって、日々前向きに頑張っており、おおむね良好と言える。学校行事やオープンスクールで参観いただけなかったのが残念である。	学校教育目標やめざす生徒像、学校像の浸透を図る。積極的な情報発信やオープンスクールの実施に努める。	学校教育目標やめざす学校像・生徒像の確立に、引き続き保護者・地域一体となって取り組んでほしい。
	生徒が学習する場としてふさわしい教育環境が整っているか。	保護者や学校支援ボランティア(行事受付・巡回・写真ビデオ撮影、生け花、図書、登校時の挨拶・見守り等)の協力により、学習環境の整備が進んだ。	地域やPTA、生徒会、部活動と連携し、一層の環境整備充実を図る。また、不審者対応訓練なども行い、危機意識を更に高めたい。	学校支援ボランティアの導入と活用がスタートし、学習環境の整備が進んだことは、大変評価できる。
教育課程 学習指導	適切な時期と目的により、充実した学校行事を実施できているか。	コロナ禍でも工夫により、安全で有意義な学校行事や部活動、生徒会活動ができた。また、学校行事を学校HP、通信、DVD等で発信できた。	望ましい人間関係や所属感、連帯感を深め、今後も工夫して実施する。ICTの効果的な活用も図りたい。	コロナ対策を生徒や保護者に事前に伝え、安全に学校行事や部活動、生徒会活動ができたことは大変評価できる。また、HP等を通じて、わかりやすく発信できたことは大変良かった。
	「学力向上指導改善プラン」に基づき、授業改善・家庭学習の充実・学力補充・小中連携の充実・読書活動の充実に取り組んでいるか。	教職員の意識した取組は進んでいるが、授業や家庭学習・読書、学力補充については、保護者の期待が特に大きい。	「学力向上指導改善プラン」を一層推進する。1人1台のタブレット端末と通信環境の活用を図るべく、研修と実践を進める。	学力向上は、すべての生徒、保護者の願いである。どの生徒も意欲をもって学習できるよう、授業の工夫や学習相談の実施、日々の声掛けなどをお願いする。

生徒指導	教育相談の充実により生徒理解に努めるとともに、問題行動の早期発見・早期対応、未然防止に取り組んでいるか。	生活アンケートや教育相談などを有効に活用するなど、教職員の意識した取り組みが進んでいる。	生徒理解と早期発見早期対応に一層努める。挨拶については、家庭や地域、生徒会と一体となり取り組みを進める。	場面に応じた服装や行動ができる点は素晴らしい。勉強だけではなく、行事や部活動、委員や係・当番・優しい行動など、良い点や頑張りを大いに認めてほしい。
	「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ問題に迅速かつ組織的に対応できているか。	いじめ対応チームで情報共有と方針決定を行うなど、組織的に取り組んでいる。	生活アンケートや教育相談を継続するとともに、日常より生徒に向き合う時間の確保と積極的な声掛けを行っていく。	どの生徒も不安や悩みを持っている。普段から相談しやすい環境を一層つくってほしい。
家庭・地域との連携	通信やHP、オープンスクールによって家庭や地域に情報を発信し、開かれた学校づくり・信頼される学校づくりができているか。	学校HPのアクセス数も大きく増加し、アンケートからも情報発信を大変評価いただいている。	ミマモルメやHPによって、今後も積極的な情報発信を行う。また、教職員の定時退勤についても、理解を得ていく。	来年度は、保護者の参観ができる工夫をお願いする。入学する6年生児童への出前講座(学校紹介)は、不安を解消する良い取組であった。
	学校運営へのPTAや地域住民の参画、及び協力を推進しているか。	保護者や学校支援ボランティアの方々に大変協力いただき、生徒の学習環境の整備が進んだ。生徒も部活動の中で地域清掃に取り組み、地域の方から喜んでもらった。	来年度、環境整備の学校支援を依頼している。学習補助などの活用も検討したい。生徒にも、地域へのボランティア参加の機会をつくりたい。	今後も、保護者や地域の協力を積極的に生かしながら、生徒の学習環境の整備を一層進めてほしい。また、生徒たちの地域での善行はとても嬉しいことである。地域とともにある学校であってほしい。